

17世紀バロックの聖・俗の愛の歌を、バレンタイン・デーよりひと足先に
古楽アンサンブル アントネッロ & 彌勒忠史
ディナー・コンサート ~イタリア貴族の晩餐会?!

Early Music Ensemble *Anthonello*



石川かおり
ヴィオラ・ダ・ガンバ



濱田芳通
ホルネット、リコーダー



西山まりえ
ルネサンス・ハープ



彌勒忠史
カウンターテナー

メールラ チャコーナのアリア《恋のリラにのせて》
 子守歌による宗教的カンツォネッタ《さあ眠りなさい》
 カンツォーネ《ラ・ガッリーナ(めんどり)》
 サンチェス 《スターバト・マーテル(悲しみの聖母)》
 パッサカリアのカンタータ《篡奪者にして暴君》 他

2016年2月7日(日)
午後6時開演(午後5時30分開場)

ウェディングホール
ピュアフル松山 5階 宴会場 エグレッタ
 勤労会館



料理写真はイメージです。

入場券 ¥8,000
<限定72席>

※チケット料金には、食事と1ドリンクまで含まれます。お飲み物の追加は別途代金を申し受けます。
 ※食事の準備の都合上、前売販売は2月4日(木)午後6時にて締め切り、当日券もございません。
 ※お帰りがご自身の運転による車になるお客様は、アルコールのご注文をなさらないようお願い申し上げます。

【指定・自由席】 マルイレコード tel: 089-945-0132 マツヤマ楽器 tel: 089-933-4148
 ピュアフル松山(愛媛県勤労会館) tel: 089-945-6011

【自由席のみ】 ファミリーマート(Famiポートのチケットから「探して買う」でコンサート検索。)
イープラス(パソコン/スマートフォン/携帯電話から予約し、配送/コンビニ発券。

スマートフォンに電子チケットとして保管できる**QRコード**も選択可。
 ※イープラスは購入方法によって手数料が異なります。事前に「ご利用ガイド」ページでご確認ください。



イープラス

主催・お問い合わせ: 『**柚人**』バロック室内アンサンブル(宮武)
 tel: 050-3432-1443 e-mail: rmm-sm-concerts@memoad.jp



アントネッロ ANTHONELLO

濱田芳通、石川かおり、西山まりえによる、17世紀以前の靈感に満ちた作品をレパートリーとする古楽アンサンブル。躍動感、ビート感覚、そしてスピリチュアリティを内包した即興性溢れる古楽本来の演奏は、ヨーロッパでも高く評価されている。

1994年の結成以来、アントネッロは「作品が生まれた時のスピリット」を大切に、躍動感、生命力（ジャズでいうところのスポンティニオス）が備わった、音楽の持つ根源的な魅力を明らかにする。これまでリリースされたCDは、いずれも「朝日新視聴室」、「レコード芸術」誌など各メディアから常に最先端の古楽グループとして高い評価を受ける。アントネッロの演奏は海外からも注目され、イタリアのシンフォニア・レーベルやスウェーデンのビス・レーベルからもCDをリリースし、いずれもフランス「ディアパゾン」誌で5つ星を獲得するほか、フランス「レペルトワール」誌推薦盤、イタリア「MUSICA」誌最優秀推薦盤などに選ばれるなど、全ヨーロッパに渡って絶賛された。『彼らの演奏法は今後流行くモード>となるだろう』仏「レペルトワール」誌、『日本から発信される新しい古楽の潮流』仏「ディアパゾン」誌

古楽器奏者としては初の「ホテルオークラ音楽賞」（2005年度）を受賞。

2006年より自主レーベル『アントネッロ・モード』を始動。リリースするCDはいずれも「レコード芸術」特選盤に選ばれるなど高く評価されていると同時に、クラシック音楽の既成概念の枠を超えて純粋に『音楽性』を求めるその企画、作品は音楽雑誌のみならず各メディアで数多く取り上げられ、クラシック音楽ファン以外からも注目と共感を集めている。

濱田 芳通 YOSHIMICHI HAMADA（コルネット、リコーダー）

我が国初の私立音楽大学、東洋音楽大学（現東京音楽大学）の創立者を曾々父に持ち、音楽一家の四代目として東京に生まれる。桐朋学園大学古楽器科卒業後、スイス政府給費留学生としてバーゼル・スコラ・カントールムに留学。リコーダーを花岡和生、コルネットをB.ディッキー、中世理論及びアンサンブルをC.ヤング、D.ヴェラールの各氏に師事。コンチェルト・パラティーノ、アンサンブル《PAN》、アンサンブル《ラ・フェニーチェ》のコンサート及び録音に参加するなど、ヨーロッパ各地で活躍する。また、映画「利休」及びアニメ「耳をすませば」「テガミバチ」の音楽、大河ドラマ「信長」「秀吉」に出演するなど、知られざるバロック以前の音楽や楽器を広めるべく、幅広い活動を行っている。東京「目白バ・ロック音楽祭」レジデント・アーティスト、大分「豊後ルネサンス音楽祭」音楽監督を歴任。2008年1月、神奈川県立音楽堂主催のモンテヴェルディ歌劇『オルフェオ』では、音楽監督及び指揮者をつとめた。2010年12月には東京室内歌劇場公演にて、F.カヴァッリのバロック・オペラ『ラ・カリスト』を指揮、好評を博した。

石川 かおり KAORI ISHIKAWA（ヴィオラ・ダ・ガンバ）

山梨大学教育学部在学中、故大橋敏成氏の指導のもとにヴィオラ・ダ・ガンバを始める。同大学卒業後、バーゼル・スコラ・カントールムに留学。ヴィオラ・ダ・ガンバをジョルディ・サヴァール、パオロ・バンドルフォ、平尾雅子、フィデルをランダル・クック、アンサンブルをクリストフ・コワン、ホプキンソン・スミス、コンラート・シュタイマンの各氏に師事。また、ヴィーラント・クイケン、ロレンツ・ドゥフトシュミットの各氏にレッスンを受ける。エンリコ・ガッティ、ウィリアム・ドンゴワの各氏等と共演する等、通奏低音奏者及びソリストとして活躍中。2009年夏、アントネッロ・モードより、CD「ユーモラス・ドビー（ドバイアス・ヒューム作品集）」を発売。

西山まりえ MARIE NISHIYAMA（ルネサンス・ハープ）

東京音楽大学付属高等学校、及び同大学ピアノ科卒業。同大学研究科チェンバロ科修了。バーゼル・スコラ・カントールムとミラノ市立音楽院に留学。チェンバロをR.アレサンドリーニ、N.デ・フィゲイレド、渡邊順生、ハープをH.ローゼンツヴァイク、M.ガラッシの各氏に師事。第11回山梨古楽コンクール・チェンバロ部門第1位、上原賞及び蔵の街音楽祭賞受賞。卒業後は、コンチェルト・ヴォカレのメンバーおよびソリストとして活躍するが2002年に帰国。現在はチェンバロとハープの両方を操るソリストとして、またアンサンブル奏者としても活躍中。栃木蔵の街音楽祭、大分長湯ルカス音楽祭、目白バ・ロック音楽祭に招かれ、靈感に満ちた演奏で聴衆を魅了する。またスペイン鍵盤音楽のスペシャリストとして海外でも評価が高く、2008年オランダ・ユトレヒト音楽祭より16~17世紀スペイン鍵盤音楽のリサイタルに招聘される。古楽器を奏する上では、バッハやそれ以前の作曲家たちがそうであったように、即興演奏を音楽の重要な要素としてとらえ、ジャズピアニストなどとの共演を通じて、内面から溢れ出るさまざまな感情の一期一会の表現を追求している。敬愛するバッハのチェンバロ作品の全曲録音プロジェクトが進行中、いずれも高い評価を受けている。また、邦人としては類のないヒストリカル・ハープ奏者としても、演奏や録音活動、後進の指導にもあたっている。レコード芸術「読者が選ぶピープル2007」、HMV「2008年度期待のアーティスト5名」に選出。

彌勒 忠史 TADASHI MIROKU（カウンターテナー）

千葉大学卒業。同学大学院修了。東京藝術大学声楽科卒業。国内外のオペラ・コンサート、「題名のない音楽会」「芸術劇場」などをはじめとするTV・ラジオ番組に出演。CD「B.ストロツィのカウンタータ集」(Tactus/「レコード芸術」2011年ヘヴィ・ローテーション盤)、「イタリア古典歌曲」(King Int.)、「音楽の友」2011年ベスト・コンサート第1位のユニットによる「No early music, No life?」(OMF/朝日新聞推薦盤)など、著作『イタリア貴族養成講座』(集英社)など。NHK「テレビでイタリア語」「ぶらあぼ」「教育音楽」にて記事を連載。イタリア国立G.フレスコバルディ音楽院講師、東京藝術大学音楽学部声楽科教育研究助手を経て、現在、放送大学、学習院生涯学習センター非常勤講師。日本音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール、東京音楽コンクールの審査員を務める。在日本フェッラーラ・ルネサンス文化大使。日本演奏連盟、二期会会員。

「アントネッロ」などと組んだ公演で独特のプログラムを披露し、中世やルネサンス、バロックの音楽曲に笑いあり、涙ありの抜群の表現力を示しただけでなく、東京オペラシティ「コンポージアム2011」でのシャリーノ作品や日生劇場でのオペラ『メデア』（2012年日本初演・平成24年度文化庁芸術祭賞音楽部門大賞）の使者役で、現代作品にも果敢に取り組み、集中力の強く優れた完成度の歌を美しい声で響かせるなど、志の高く幅広い活動を行ったことにより、平成24年度（第63回）芸術選奨文部科学大臣新人賞（音楽部門）を受賞した。